

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく令和6年度の実施状況について

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づき、
議会局の2024（令和6）年度施策の取組状況等について報告します。

基本方針6：市役所の率先行動

1-(1) 指標の進捗状況

- ・2023(令和5)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比63.4%減の6.0トン
- ・2024(令和6)年度のエネルギー消費量は、2013年度比62.2%減の0.09TJ

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況>

上段：実績、下段：削減率（基準年度比）

主な指標	基準値 (2013年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量[万t-CO ₂]	0.00165	0.00079	0.00083	0.00060 (▲63.4%)	—
エネルギー消費量[TJ]	0.24	0.11	0.12	0.09	0.09 (▲62.2%)

1-(2) 指標の進捗状況

- ・議事堂については市庁舎の一部であり、ほかに所管施設はないため、LED等高効率照明及び太陽光発電設備の導入の実績はありません。
- ・一般公用車3台のうち、2024（令和6）年度現在、次世代自動車等の割合は100%です。
- ・公用車の利用に際し、運転手はエコドライブに努めるとともに、適切な点検・整備を行い、燃料使用量の抑制にも努めています。また、エコドライブ研修を全運転手が受講しています。

<対策の取組状況>

主な指標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
LED等高効率照明の導入	—	—	—	—
太陽光発電設備の導入	—	—	—	—
一般公用車における次世代自動車等導入	100%	100%	100%	100%

※2024年度の次世代自動車等の台数 3台 (EV:0台、PHV:0台、FCV:1台、HV:2台)

<職員の取組>

- ・会議及びそれに伴う事前説明等においてはモニターを活用するなど、ペーパーレス化を推進しました。
- ・局内責任職会議等を通じて、月に一度ペーパーレスの取組状況について共有を行いました。
- ・全職員を対象とした環境研修を受講し、温暖化対策の取組に対する理解促進を図りました。
- ・クールビズ・ウォームビズ等の省エネ行動の実践、「横浜市グリーン購入の推進に関する基本方針」に基づき、環境に配慮した物品等の調達や役務の提供を進めました。